アンバサダーライダー・髙田茉莉亜と佐々紫苑の

欧州馬術レポート

週刊 Gallop 2020年7月号掲載

馬心伝心 ―奮闘記partⅡ―

日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑
（さっさ・しおん）
1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

佐々紫苑
Shion Sassa

私が初めて馬に触れたのは2歳の時、観光乗馬の引き馬だったことは以前お話ししたでしょうか。たった15分ほどの経験ですが、この時の馬の背中から見た景色が普段と全く違ったものに感じたことと、お尻のごつごつ感を今でもはっきりと覚えています。日本で馬を見たり触れたりできる機会は本当に限られています。現在はお休み中ですが、毎年5月に世田谷のJRA馬事公苑で開催されていたホースショーでは、引き馬やポニーとのふれあいコーナーに人気が集まり、いつも子供たちの行列ができていました。

オランダに住んで一番感じたのが、人と馬との距離の近さです。郊外では特に普通の家の庭にかわいいミニチュアポニーが飼われているのをよく見かけました。それこそ日本の家庭で犬や猫を飼う感覚で小さな馬を飼えるのです。子供たちは家族同様に馬と生活し、馬の世話をごく自然に学んでいきます。ポニーの試合では、自分の相棒と一緒に出場する子供たちに温かい声援が送られます。身近なスポーツとして確立している馬術を楽しみ、幼いころから感覚を養っていく環境は羨(うらや)ましい限りです。土地の狭い日本で、庭先で一緒に生活をするというわけにはいきませんが、馬とのふれあいの場所を増やし、もっと馬たちの存在を身近に感じてほしい…。その手助けを私のライフワークの一つにしたいと思っています。

ノラ（4歳）とポニーのボビーはいつも仲良し（本人提供）

Let's enjoy Dressage

アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆髙田茉莉亜
（たかだ・まりあ）
1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

髙田茉莉亜
Maria Takada

今回は乗馬の一味違う楽しみ方をご紹介します。

それは『乗馬ファッション』です！ジョッパーズパンツやブーツなど、もともと乗馬用に作られたものがファッショントレンドにもなっているように、乗馬はおしゃれとのつながりが強いスポーツでもあります。おしゃれで機能的なウエアもたくさんあるので、特に女性にとっては自分好みにコーディネートするのが乗馬の楽しみ方のひとつ。

いわゆる白パンツにジャケットを羽織る王道の乗馬ファッションは、実は競技の時のみ着用するもので、普段は紺色やベージュなどの色付きのキュロット（乗馬用のパンツ）に、ポロシャツやトレーナーなどを着用してトレーニングをします。

競馬と真逆で、乗馬ではお尻を浮かさず、鞍にしっかり座りながら馬へ指示を出すので、キュロットのお尻や膝の部分には鞍との滑り止めの役割を果たす革やシリコンの加工が施されています。

ちなみに、私のお気に入りのキュロットはジーンズ柄のもの。馬に乗った後、スーパーへ買い物に行ったり、友達とお茶をしに行ったりしても違和感がないコーディネートを心がけています！

カジュアルでも、襟付きのシャツで乗馬ならではの気品は忘れずに（本人提供）